

令和5年度  
横浜市病院安全管理者会議  
専門部会  
臨床工学部会報告

横浜市立大学附属市民総合医療センター  
土橋 克彦

# 臨床工学部会 参加施設

- 横浜市立市民病院
- 横浜市立脳卒中・神経脊椎センター
- 横浜市立みなと赤十字病院
- 公立大学法人横浜市立大学附属病院
- 公立大学法人横浜市立大学附属市民総合医療センター
- 社会福祉法人恩賜財団済生会支部神奈川県済生会横浜市南部病院
- 聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院
- 独立行政法人労働者健康安全機構横浜労災病院
- 昭和大学 横浜市北部病院
- 社会福祉法人恩賜財団済生会支部神奈川県済生会横浜市東部病院
- 独立行政法人国立病院機構横浜医療センター
- 国家公務員共済組合連合会横浜南共済病院
- 昭和大学藤が丘病院

# 開催日

- 第1回

- 令和5年7月24日～8月14日、メール配信

- 報告事項：

- ✓ 令和5年度連絡網（確認）

- 審議事項：

- ✓ 第2回開催日程：

- アンケートにて集計 10月12日決定

- ✓ 横浜市病院安全管理者会議【臨床工学部会要綱】改編承認（第2回部会にて再度説明）

# 開催日

- 第2回

- 令和5年10月12日 15:00～
- 横浜市庁舎21階 N03 会議室
- 報告事項：
  - ✓ 第1回会議（メール会議）報告
  - ✓ 臨床工学部会要綱改編について事務局より再度説明
- 情報交換（アンケート結果）：
  - ✓ ACT測定装置の管理方法について
  - ✓ 医療機器のリモート管理保守について

# ACT測定装置の管理方法について

ヘモクロンレスポンス（ACT測定装置）の保守終了にともない各施設のACT測定装置の状況をアンケートした。

- 機種

- ヘモクロン401（8%）、ヘモクロンレスポンス（44%）、ヘモクロンエリート（23%）、アクタライク（20%）、i-STAT（4%）、ソノクロット（1%）

- カートリッジテストチューブ管理

- 供給：SPD
- 保管：常温（63%）、冷所（27%）
- 期限：使用時確認、半年毎に確認

- 精度管理

- 行っている：36%
- 行っていない：63%

# ACT測定装置の管理方法について

- 試薬カートリッジの常温保管は期限があるが、使用頻度はそれなりにあり問題なく使っている。
- 院内のACT測定装置は1機種に統一していない。
- 機種間の測定値差も、参考値であり気にしていない。
- カートリッジタイプはヘモクロンエリートが主
- 価格の面でアクタライクを選んでいる。

# 医療機器のリモート管理保守 について

昨今、国内の医療機関において、電子カルテシステムがランサムウェア感染により深刻なシステム停止が報じられ、医療機器のリモートメンテナンス回線も抜け道の一つと言われている。各病院での「医療機器のリモート・管理保守」の状況をアンケートし現状の情報共有をした。

# アンケート

- 医療機器のリモート管理を行っていますか。

▶行っている：36%

- 手術支援ロボット

リモートアクセス（da Vinci OnSite®：遠隔da Vinci システム）

- AED ：AEDリモート監視システム

- 植込み型心臓電気デバイス（CIDEs）の遠隔モニタリング

▶行っていない：63%

- 医療機器の新規導入・更新時にリモート管理情報が分かるようになっていませんか

▶なっていない：83%

▶未記入：17%

# まとめ

- メール会議、集合会議を実施
- COVIDにて、3年ぶりに集合し顔を合わせる事で、ざっくばらんに話しながら情報共有ができた。
- ACT測定装置の各施設の管理方法の情報交換を行い、現行主要機種の後継機選定の参考になった。
- 医療機器のリモート管理は、3割強の施設で行っていた。
- 医療機器の新規購入時などにリモート管理情報を医療情報部など共有する運用はほとんどされていなかった。
- 医療機器の一元管理を臨床工学部が担う上で、今後管理すべき主情報の一つになる。